

経営比較分析表（令和6年度決算）

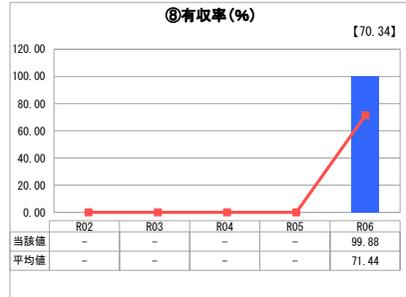
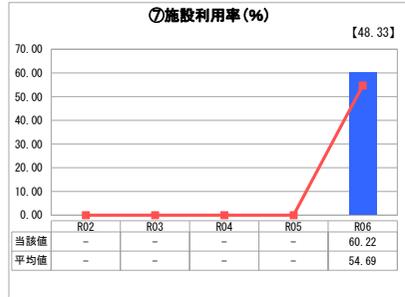
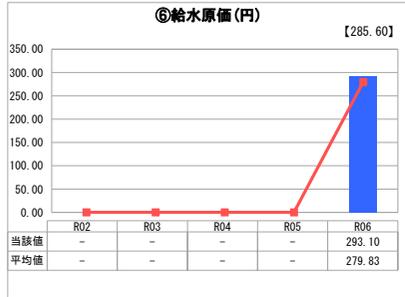
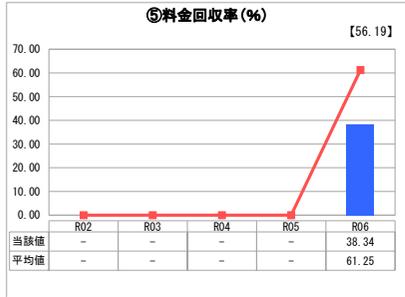
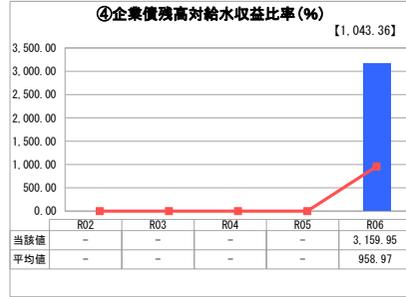
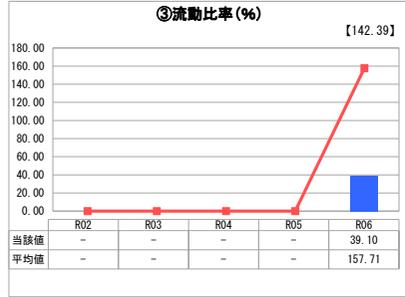
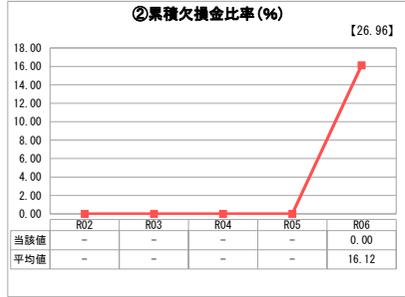
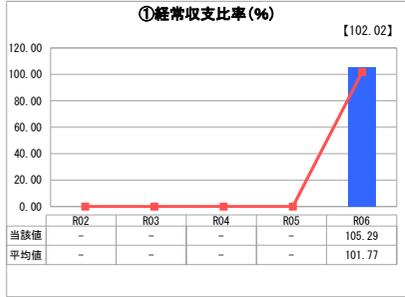
高知県 津野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	46.70	86.95	2,092	

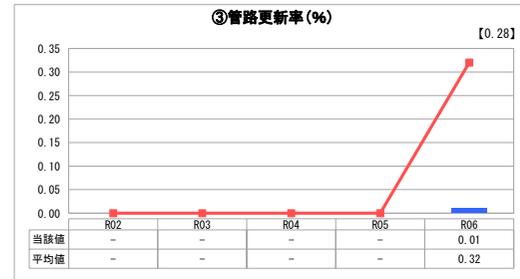
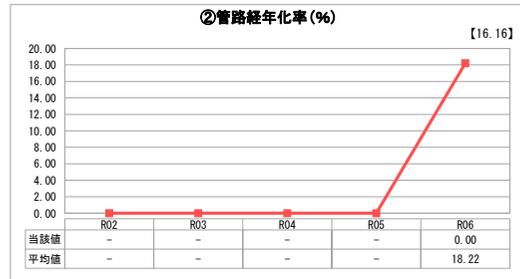
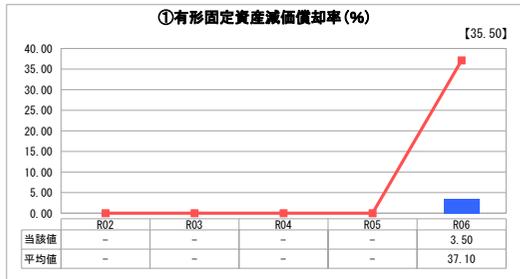
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,184	197.85	26.20
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,463	10.87	410.58

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

企業債残高対給水収益比率については、H30年度から新たな施設整備と管路等の更新工事を順次行っており、増加傾向にある。この増加傾向については、適正な規模と判断している。

収益の収支については、人口減少により低下しており、必要に応じた料金改定と施設管理のあり方等を早急に検討していく必要がある。

料金回収率については、給水に係わる費用を給水収益と一般会計からの繰入金等で賄っているため、適切な料金収入の確保が必要である。

管路更新率については、平均値と比較して大幅に低いことから、その必要性と重要度を踏まえ、計画的に実施していく必要がある。

今後においては、経営の健全化を図るために様々な観点から分析を行い、改善点を洗い出す必要がある。

2. 老朽化の状況について

H30から8か年の計画で津野町の一部の管路更新を順次行っている。財源の確保や経営に与える影響等を踏まえながら、今後、管路の更新等の必要性と重要度が高いものから、順次更新等を行っていく予定である。

全体総括

急速な人口減に伴い、経営の自主財源となる料金収入等の給水収益が減少すると共に、老朽化による施設の維持管理費の大幅な増、また、近年の人員費の増や物価高騰による維持管理費の増も今後見込まれることから、新たな設備投資に対する優先順位付け等を見直す必要があると同時に、持続可能な施設運営のため、必要に応じた料金の見直しと施設管理のあり方を早急に検討していかなければならない。

併せて、施設の維持管理業務及び公営企業会計の事務処理に携わる人材確保も引き続き急務である。